

## カリキュラム

A バックオフィス	DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入
システム導入	

コースのねらい	自社の業務変革を目指して、業務のシステム化に向け、自社のニーズに合致したシステムを企画できる知識を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	DX導入手法とデジタル技術の活用	<p>(1)DX戦略立案ツール DX導入のためのフレームワーク・ツールを紹介し、どのような手順でDXを進めていくのか大局的な視点で見ることを意識できるようにする。</p> <p>(2)DX診断～自社のDX状況を理解する DXに利用されるデジタル技術を紹介し、自社に当てはめてどの程度の活用がされているかを確認し、今後どのような活用ができるかを検討する。</p>	1.5
	2	DX導入手順	<p>(1)DXのビジョン・課題の定義 自社の強みとなる資源を見出し、DXによってどのような未来を描くことができるのかを検証する。そのうえで自社の課題が何なのかを明確にする。</p> <p>(2)DX推進のためのリーダーシップ・能力開発・ツール 変革への抵抗を排し、全社的にDXを推進するためのリーダーシップのあり方、優れたリーダーとなるための訓練方法、利用できるツールなどを解説する。</p> <p>(3)DX推進のための組織体制・外部との連携 DXを推進するためのチーム作り、及び社内だけではなく社外リソースを利用した連携方法を事例を交えて解説する。</p>	1.5
	3	システム開発手法	<p>(1)DXにおけるプロジェクトマネジメント手法 ウォーターフォール型とアジャイル型のマネジメント方法の違いを解説し、DXで利用されるアジャイル型のプロジェクトマネジメントにおける留意点を解説する。</p> <p>(2)新システムと既存システムの融合 アジャイル型で開発されたDXシステムと、基幹システムなどの既存システムとの融合策を示し、既存のビジネスプロセスと新規事業のビジネスプロセスをいかに両立するかを論じる。</p>	1.5
	4	DX推進検証	<p>(1)Poc手法とは 理想的な顧客体験を実現するためのPoc(実証実験)の手法を解説する。</p> <p>(2)仮説・検証を実践してみる 仮想的な環境下においてPocを実施する演習を行い、課題の発見から仮説の思索、次の施策の設定までを体験し修得する。</p>	1.5
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント
前半は、DXを推進するために必要な推進体制やリーダーとしての在り方を学び、後半は技術的な解説でDX特有の開発方法・思考を習得する。これにより自らが変革のリーダーとなるための素養を身に着ける。

講師から一言
日常業務のマネジメントとDX推進のマネジメント。その違いを認識し、両立しながらリーダーシップを発揮するための手法をお伝えいたします！